



### 議会改革

「奉仕の精神」をもって議員職務を果たします。日本維新の会の「身を切る政策」に合致した中で行政をすべきです。「議員定数削減」例えば5人削減で1000万円以上を事業に充てます。人口対策

土地、宅地の整備。田上は赤彦、刈羽とほぼ同面積ですが、JRの駅が2つもあり、403号線も整備され新潟からの移住者をターゲットとします。空き家、空き地の実態把握を急ぎます。待って消滅自治体と成らないために。

加茂市との一部組合の焼却場は10年計画で進んでいます。明日ダウンするかもしれない老朽施設を悠長に考えてはいけません。次の着場の問題も控えています。企業誘致もトップ任せではありません。皆さんが思っているより田上町は、問題山積です。



品田 まさとし

## 笑顔あふれる町づくり

田上町の持続可能な明るい未来をつくるために

- 子どもの貧困対策 『子どもの未来応援プロジェクト』
- 自殺対策として、身近な人にSOSを出しやすくする 『味方になりきるコミュニケーション』の普及啓発
- 教育格差対策の学習支援 社会復帰対策の就労支援
- 健康寿命を伸ばす為の、音楽やスポーツ、ボランティア活動などを通した生涯学習の推進
- 地域のつながりをサポートする居場所づくり

●フードバンクかもたかみ 代表 ●にいがたフードバンク連盟 監事  
●新潟県フードバンク連絡協議会 監事 ●田上町商工会青年部卒



田上町議会議員 無所属 加茂農林高校林業科卒 森山 春 みるち

## 安全で安心な“すみよい町”づくりを!

豊かな自然の中で、活気あふれる田上町を目指し、未来のために今できることを全力で実行します!

- 自然災害に強い町づくり 町主催での防災訓練の実施、各災害における避難所等の体制整備
- 子育てがしやすい町づくり 人口減少対策として、結婚、出産、子育てができる環境整備
- インフラ整備の充実 子どもと高齢者に安全な道路の確保
- 安全で安心な町民体育館の早期実現を スポーツの町 田上町を
- 豪雨時での不具合箇所の対応 現状把握を行ない、必要な箇所の応急・恒久対策の実施
- 安全で安心な町民プールの建設を 全世代が使用できる環境を

### 全力投球で!!



現在田上町議会議員二期 特別職技能取得 厚生労働省 省庁ヘビーユーザー認定 渡辺 かつゆき

## 住民こそ主人公

- 学校給食無償化をめざします
- 高校卒業までの医療費通院も無料化を
- 補聴器購入支援を増やして5万円に
- 転作奨励金の増額を!
- 稲作支援金制度を(10a4千円)

原発再稼働に反対です。再生可能エネルギーの本格的な研究を43兆円の軍備計画stop 子育て 高齢者 農業 医療 中小企業に使いの声を!

加茂南院を二次救急病院にもどせ



日本共産党 高橋 ひであき

## 今の私たちのために

田上町全域を歩いて実感したこと

未来ある子供たちのため、田上町に住む私たちのため、どんな声も逃さない体制作りが必要だということ。

そして、今の私たちのために、今できること二十年後、二十年後の私たちのために、今からするべき事がたくさんあるということ。

私は、たくさんの方の声を耳を傾けたい。謙虚に素直に女性ならではの視点と柔軟な発想で声を形にするため真摯に取り組んで参ります。

皆様のご支援ご支持を 心よりお願い申し上げます。



よしほら あきこ (48歳)

## 20年先の田上を本気で考えよう!

2045年、田上町は人口7390人、高齢化率50.5%の超少子高齢化社会に突入します。子供、孫の為に、ぜひ皆さんと一緒に考えましょう!子供は町の宝もの!動くのは「今」しかありません!

- ・出産、育児、教育、定住化支援
- ・食の改善 ・竹の産業育成
- ・近隣市町村との連携協力



ただし 禎 だ (49)

民間で培った経験を活かして官の発想にとらわれず、町民の皆様のために議員としての役割を果たします。

1. 将来の人口減少を踏まえて 議員定数削減を前提とした議員定数見直し
2. 出産・子育て応援交付金の増額
3. 移住者増加のため民間と連携した 優良住宅団地の開発推進
4. 農業支援策の充実
5. デジタルを活用した議会資料のペーパーレス化、及び町民サービスの向上と行政事務の効率化
6. 事故・防犯・災害対策の充実

田上町を子供たちの未来につなぐ発展させるために是非みなさまの力を貸してください。

【プロフィール・経歴】  
平成2年より田上町に在住。昭和33年3月2日 三島市で農家の嫡子に生まれる  
昭和51年4月 新潟県立加茂農林高等学校 農業土木科卒業 中学、高校の6年間を加茂農林に計6年  
昭和51年4月 加茂市の民間企業に入社。4.6.10.12月勤務 現場管理を経験し、部長、常務執行役員・顧問を歴任  
資格 宅地建物取引士、コンクリート技師・1級、海釣り、クラシック音楽、家庭、養蚕、天文



あおの ひでゆき 青野 秀幸

## 皆様の声をまっすぐ町政へ

### 4期目「よりそう」を掲げ、よい町にする

### 福祉とやすらぎの住みよい町づくり

- 福祉の充実** 住み慣れた地域で暮らす為に自立する介護支援の実践 近所の助け合いの輪を作る
- 農業支援の拡大** 関東都心部に直販ルートの市場作り助成金を実現。肥料・光熱水費高騰に見合う助成支援の実現を提言。
- 子育て支援** 学校給食の完全無償化に 向けた提言。 高等学校の授業料を全額助成して学ぶ環境を実現する。



つばき 一 春 (58歳) 福生会(代表理事) 田上

## 子どもたちへ残せる「まちづくり」に取り組みます

- 町の財布を豊かにする産業振興 農業と企業の未来志向を支援
- 安心して学べる教育環境 課外体験の貧困を無くし、ヤングケアラーを支援
- 穏やかな暮らし 子育て・年金生活を健やかに過ごせるまちへ

略歴  
昭和25年7月生まれ、妻子と3人暮らし  
昭和44年、加茂農林高校を卒業し国土防災技術(株)入社  
平成15年、林業「森林人(もりうど)」起業  
平成27年～田上町議会議員2期



けんいち ことしま 謙一

## 心をつなぐ、未来を育てる

これまでに町の皆さんの想いや声をたくさん頂きました。引き続き、町の皆さんと町政への架け橋として、届けていきたいと思っております。

町の皆さんが年を重ねても安心してこの町に住み続けて頂きたい。子供たちが厳しい社会の中でも生き抜く力をもってほしい。そのための「まちづくり」はまったなしです。町政がどのように進められているのかつぶさに知り、考え、提言してまいります。

田上町の未来を考え、行動し続けます。



いまい さいちよ

## ※活気ある議会を創る※

### 『町民の声を町政へ』届けます。

### <三期目の政策目標>

- 少子化・人口減少化に歯止めをかけるための条件整備に取り組みます。【出産祝い子育て支援金制度の確立】
- 【民間資本による宅地開発の推進】
- 農業振興を回る一環として「竹の子」の増産とブランド化するためにも「竹林整備支援金制度の確立」に取り組みます。
- 市外からこの町に来てくれる人(交流人口)をもっと増やし町内の活性化を図る為にも、護摩堂山山頂の汲み取りトイレの水洗化に取り組みます。
- 困りごとや住んでいる地域の環境整備取り組みます。

※ご支援を御願ひ申し上げます。※



なほいち 藤田 直一

## 「人口問題まったなし!」

「人口問題は地域の魅力づくりから」  
魅力的な町には人は集まる!

2050年に6,997人の試算あり

「人口問題は地域の魅力づくりから」  
魅力的な町には人は集まる!

・災害に強い安全なまちを創る。  
小川川の改修を提言します。防災情報を集め災害に強いまちづくりを進めます。

・安心して生活できるコミュニティを創る。  
隣近所・老若男女の助け合いの仕組みをつくり、安心・安全なまちづくりを進めます。

・SDGsを意識した持続可能なまちを創る。  
環境にやさしい、人にやさしい、すべての人が暮らしやすいまちづくりを進めます。



いけい ゆたか 加茂高校卒業 新潟工業短期大学 同専攻科卒業 大井町勤務 地域づくりアドバイザー 全日本労働者ユニテリアン連盟副会長 新潟県小中PTA会長 田上PTA会長

## 二期目の本気、真っ直ぐ前へ!

人が減っても色褪せない、田上の社会経済を実現するために、人口減少に立ち向かい、備える政治を実践します。そのためには、

一、百の凡策よりも、一つの「覚悟ある」施策 行政資源(ヒト、モノ、カネ)の集中と、各種施策の統廃合により施策の実効性を高めます。一人ひとりにしっかりと届く施策を実施します。

二、地元経済は暮らしそのものだから、衰退させない施策 地元経済の主役は消費です。まずは日々の買い物に不便が生じないようにするために、地元消費の定着を推進し、習慣化するように高めます。暮らしに不便が生じないようにします。

三、少子高齢化には、少子化と高齢化のバランス重視の施策 地域にとって、子どもは「宝」、高齢者は「誇り」です。全ては「経済市民」良い政治を行い、苦しんでいる人々を救うのために。



おの のけんいち

## 住み続けたい町 田上

子育て世帯の楽しく 安心な育児・教育

高齢者も障害者も 充実な暮らし

居住者増える 魅力的な環境

win win! 暮らしを支える田上町



わたなべ なみ (55) 現在 大井町で子育て中 2012年4月～2022年4月 田上町議会議員 2期

## Well being みんなでつくるまちづくり

人にやさしい → 人を大切にする → 人を育てる 田上町

■暮らしを支える条例の制定をしていきます 先ずはケアラー・ヤングケアラー支援条例を策定!

■子育て支援 保育料・給食費の負担軽減!

■田上町ブランドへの協働 農と産学官のマッチング

☆子育てや老後の生活は、社会全体で気持ちよくサポートしていける環境をつくりまします。

略歴  
昭和37年 新潟市秋葉区生まれ(旧新津市)  
平成25年 新潟大学 経済学部 経営学科 卒  
DIYアドバイザー、福祉住環境コーディネーター  
農商工マッチングコーディネーター、防災士  
写真館、放課後デイサービス、元バスドライバー  
田上町議会議員(3期)、NPO法人役員



なかの かつみ